

DynaBook を使いこなすためのサポート情報

● まずマニュアルを読んでください

ステップ1

「安心してお使いいただくために」をお読みください
パソコンをお取り扱いいただくための
注意事項について



ステップ2

「初めの一冊」とビデオ「す
いすいセットアップビデオ」
が役に立ちます
電源を入れてパソコンを使え
るようになるまで



ステップ3

特に初心者の方へ「パソコンの基本」
パソコンの基本操作や文字入力について説明



ステップ4

「クリエイティブブック」でパソコン
を楽しみましょう
インターネットや電子メール、オリジ
ナルCDの作りかた、アプリケーショ
ンソフトの紹介など



ステップ5

「ハードウェアガイド」で調べてみま
しょう
パソコンの機能や設定、周辺機器の接
続など



「トラブル解消Q&A」を開いて対応方法をチェックします
再セットアップについても説明
用語集も付いた困ったときのお役立ちブック

● リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、[スタート] → [DynaBook クイックスタート] → [お読みください] → [リリース情報] をクリックするとご覧になれます。

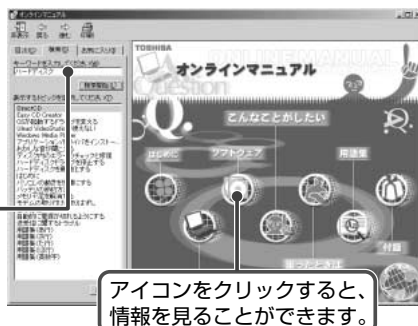
● オンラインマニュアルについて

「パソコンの操作で困った」「こんなことがしたい」「アプリケーションソフトの使い方を知りたい」「用語の意味を知りたい」。

こんなとき、パソコン上で検索できる「オンラインマニュアル」があります。知りたいジャンル別にさまざまなQ&A情報を見ることができます。

- ① デスクトップの「スタート」ボタンをクリックする
- ② メニューバーから「オンラインマニュアル」をクリックする

知りたいことのキーワードを入力すると、情報を検索することができます。



● dynabook.com

東芝PC情報サイト「dynabook.com」(<http://dynabook.com/>)ではDynaBookの最新情報やサポート情報を提供しています。



インターネットについて
②『クリエイティブブック 2章 2
インターネットに接続する』



● Windows のヘルプ

Windows の操作についての情報もパソコン上で検索できます。

- ① デスクトップの「スタート」ボタンをクリックする
- ② メニューバーから「ヘルプ」をクリックする



もくじ

もくじ	2
はじめに	4

1 章 パソコンのしくみ 7

1 ハードウェアとは	8
1 ^{シーピーユー} CPU (プロセッサ)	8
2 メモリ	8
3 記憶装置	9
4 表示装置	11
5 入力装置	12
2 ソフトウェアとは	14
1 ^{オペエス} OS (オペレーティングシステム)	14
2 アプリケーション	15

2 章 電源を入れる／切る 17

1 電源を入れる	18
2 電源を切る	21
3 パソコンの使用を中断する	23
4 簡単に電源を切る／ パソコンの使用を中断するとき	28

3 章 パソコンをさわってみよう 31

1 タッチパッドの基本操作	32
2 デスクトップとは	36

3	ウィンドウを開く	38
4	ファイルやフォルダを作る	40
5	ファイルやフォルダをコピーする	47
6	ファイルやフォルダを削除する	49








4章 文字を入力してみよう 55

1	キーボードについて	56
2	メモ帳を開く	59
3	文字を入力する	60
1	日本語を入力するには	61
2	ローマ字入力／かな入力を決める	62
3	ひらがなを入力する	66
4	漢字を入力する	67
5	カタカナを入力する	68
6	記号を入力する	69
7	英数字を入力する	71
8	入力がうまくできないとき	72
4	文書を保存する	80
5	ローマ字入力一覧表	84
6	キー操作一覧	86
	さくいん	91

はじめに

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心して
お使いいただくために』に記載されています。よくお読みください。
本書は、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡する、あるいは重傷 ^{じゅうしょう} を負う危険が差し迫って発生する可能性があることを示します。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡する、あるいは重傷 ^{じゅうしょう} を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害 ^{しょうがい} * ¹ を負ったり、物的損害* ² の発生が想定される内容を示します。
	データの消失や、故障、性能低下をおこさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
	知っておくと便利な内容を示します。
	覚えておくと役に立つ用語を示します。
	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「 」 他のマニュアルへの参照の場合…『 』 オンラインマニュアルへの参照の場合…《 》

*1 傷害^{しょうがい}とは、治療^{ちりょう}に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。

*2 物的損害とは、家屋・家財にかかわる拡大損害を示します。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

記載について

- ・ 本書に記載している画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。

Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Smartmedia、スマートメディアは（株）東芝の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスク）や、CD-R、CD-RWなどに記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要な事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1 章

パソコンのしくみ

- 1 ハードウェアとは 8
- 2 ソフトウェアとは 14

1

ハードウェアとは

コンピュータのしくみについて、「ハードウェア」と「ソフトウェア」、または省略して「ハード」と「ソフト」という言葉がよく使われます。

ハードウェア（Hardware）とは、「固体の、形あるもの」のことです。

パソコンの世界では、ディスプレイやキーボード、マウスなど、実際に目に見えるもの、手に触れられるものを指します。プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器もハードウェアです。

しかし、ハードウェアはそれ自体だけでは使えません。そのハードウェアに合ったソフトウェアが必要です。ソフトウェアがあってはじめて、ハードウェアはそれぞれの役割を果たすことができます。

パソコンのハードウェアは、役割によって次のように分類することができます。

1 シーピーユー CPU (プロセッサ)

指示に従ってデータを処理するところです。中央演算処理装置とも呼ばれます。CPUの性能によって、パソコンの性能が左右されます。

CPU名の後に書かれている「XXXメガヘルツMHz」はクロック周波数と呼ばれ、処理速度を表しています。同じCPUであれば、周波数が大きいほど性能が高くなります。

2 メモリ

処理するデータやプログラムを一時的に記憶しておく場所のことです。容量が大きいほど処理がスムーズになります。容量を大きくしたいときは増設もできます。

3 記憶装置

パソコンで扱うデータを記憶する装置には、次のようなものがあります。

ハードディスクドライブ

データを磁気で記憶する装置です。電源を切っても、データが消えることはありません。フロッピーディスクやCD-Rと比べて容量が大きいため、たくさんのデータが記憶できます。

本製品には、ハードディスクドライブが内蔵されています。

必要があればPCカードタイプ（TYPE IIまたはTYPE III）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすこともできます。



●内蔵 ●パソコン本体にあらかじめ組み込まれていること。



ハードディスクドライブについて

⇒『ハードウェアガイド 1章 6 ハードディスクドライブ』

フロッピーディスク

3.5 インチの薄い円盤にデータを記憶するメディアです。小型で持ち運びができるので、データの受け渡しに便利です。



パソコンのデータをフロッピーディスクに書き込み、フロッピーディスクのデータをパソコンに読み込む装置を「フロッピーディスクドライブ」または「フロッピーディスク装置」といいます。

本製品では、フロッピーディスクドライブは別売りです。

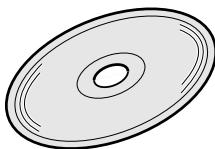


フロッピーディスクの使いかた

⇒『ハードウェアガイド 2章 8 フロッピーディスクドライブを接続する』

CD

直径 8cm、12cm の円盤にデータを記憶するメディアです。

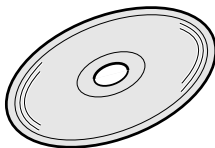


パソコンで読み出し可能な CD には、次の種類があります。

- CD-ROM.....読み出し専用
 - CD-R書き込みができる。書き込まれたデータの削除・変更はできない
 - CD-RW.....1000 回程度、データの書き換えや削除が行える
 - CD エクストラ記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生装置でそれぞれ再生する
 - フォト CD普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録する
- 音楽 CD

DVD

直径 12cm の円盤に、4.7GB（一層）または 8.5GB（二層）のデータを記憶するメディアです。



パソコンで読み出し可能な DVD には、次の種類があります。

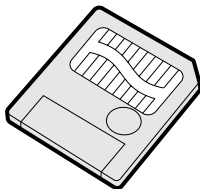
- DVD-ROM読み出し専用
- DVD-Video映像再生用

DVD を読むには、マルチドライブが必要です。

フラッシュメモリカード

小さなカードにデータを記憶するメディアです。次の種類があります。

スマートメディア
SD メモリカード など



フロッピーディスクには入らないような大きなデータが保存できるので、デジタルカメラ、電子楽器、音声・音楽用機器、プリンタなどの機器とのデータの移動に便利です。

本製品でフラッシュメモリカードを使用するには、別売りのフラッシュメモリカード用アダプタが必要です。

4 表示装置

表示装置は、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。一般的にディスプレイが使われます。ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。

液晶ディスプレイ

画面をごく小さな点に分けて、点ごとに電圧を変化させて画像を表示します。

本製品には、液晶ディスプレイが内蔵されています。



液晶ディスプレイ ➡ 『ハードウェアガイド 1 章 5 ディスプレイ』

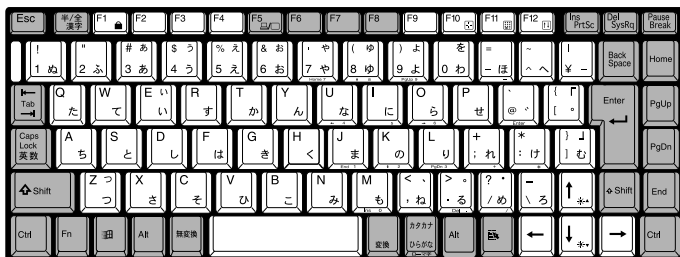
CRT ディスプレイ


テレビと同様に、ブラウン管を発光させて表示します。

5 入力装置


キーボード

文字や数字など、記号を入力してパソコンに指示を与える装置です。

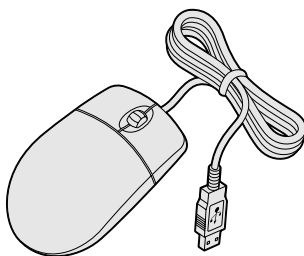


 詳細について ➡ 「4章 1 キーボードについて」

マウス

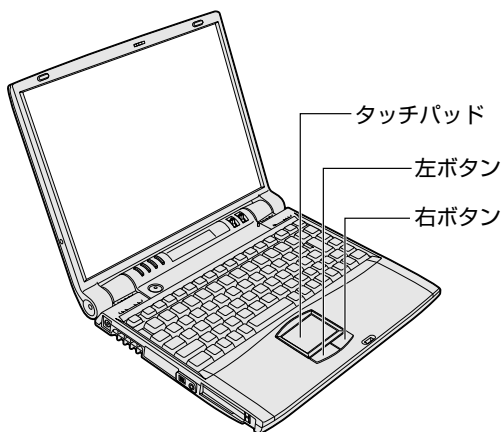
画面上のマウスポインタ（）を動かして、パソコンに指示を与える装置です。

本製品では、マウスは別売りです。お使いになる場合は、USB マウスをご用意ください。



タッチパッドと左ボタン／右ボタン

マウスと同じ役割を持つ入力装置です。



詳細について ➡ 「3 章 1 タッチパッドの基本操作」

『ハードウェアガイド 1 章 4 タッチパッド』

2

ソフトウェアとは

ソフトウェア（Software）とは、パソコンに実際の命令を出す道具です。ソフトウェアは、ハードウェアであるパソコンに組み込んで（インストールして）はじめて使えます。ソフトウェアがないと、ハードウェアは存在しているだけで、その価値を発揮できません。

パソコンで使用するソフトウェアは、大きく分けて次のように呼ばれます。

1 ^{オーエス} OS(オペレーティングシステム)

基本システムともいいます。パソコンでデータを扱うための、土台となるソフトウェアです。

本製品では、OSに「Windows Me」を使います。パソコンを購入して最初にWindowsのセットアップを行うのは、パソコンを動かす土台を敷くためです。セットアップ済みのパソコンでは、毎回電源を入れるたびに、Windowsが起動して、その上でデータを扱えるようになります。

OSによって、画面の表示形式と、機器を操作する環境が異なります。

Windowsでは、パソコン内部での作業をイメージしやすいように、画面上にマウスポインタやアイコンが表示されます。

2 アプリケーション

アプリケーション・ソフトウェアの略で、特定の用途のために利用するソフトウェアのことです。

アプリケーションは OS のセットアップが終了した後、OS の上で起動して使います。

本製品には、いろいろなアプリケーションがインストールされていますので、目的に応じて使ってみてください。

新たに購入するときは WindowsMe 対応のアプリケーションをご購入ください。

購入したアプリケーションを初めて使うときは、パソコンへインストールする作業が必要です。1 度インストールすれば、2 回目以降はすぐに使えます。



参照 本製品に入っているアプリケーションについて

➡『クリエイティブブック 1 章 アプリケーションについて』

アプリケーションを使って作ったデータは、ファイルの形で保存します。Windows では、ファイルがどのアプリケーションで作られたものかわかるように、アプリケーションごとに異なるアイコンでファイルを表示します。

その他にも、OS 上でハードウェアを動かすためのソフトウェア（ドライバ）や、アプリケーションを補佐する働きをもつソフトウェア（ユーティリティ）など、様々な種類のソフトウェアがあります。

2 章

電源を入れる／切る

1	電源を入れる	18
2	電源を切る	21
3	パソコンの使用を中断する	23
4	簡単に電源を切る ／パソコンの使用を中断するとき	28

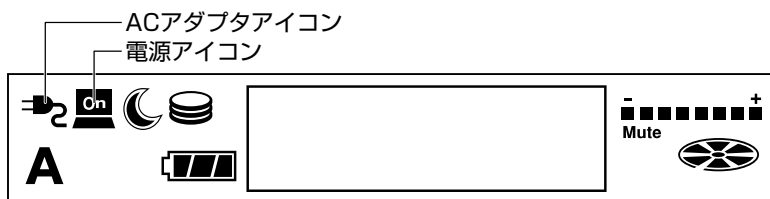
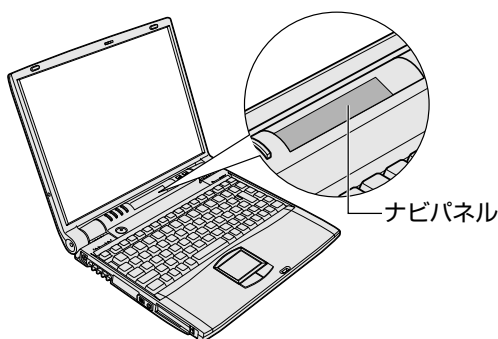
1

電源を入れる



ここでは、Windows のセットアップを終えた後、電源を入れる方法について説明します。

電源に関する表示

電源の状態はナビパネルの、AC アダプタアイコンと電源アイコンで確認できます。





それぞれの意味は次のとおりです。

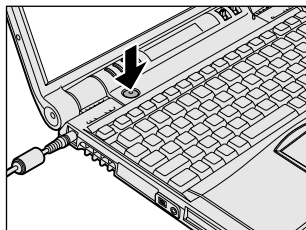
	状 態	パソコン本体の状態
ACアダプタ  アイコン	点灯	ACアダプタを接続している
	消灯	ACアダプタを接続していない
電源  アイコン	点灯	電源ON
	消灯	電源OFF

操作手順

別売りのフロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクが入っていないことを確認してください。

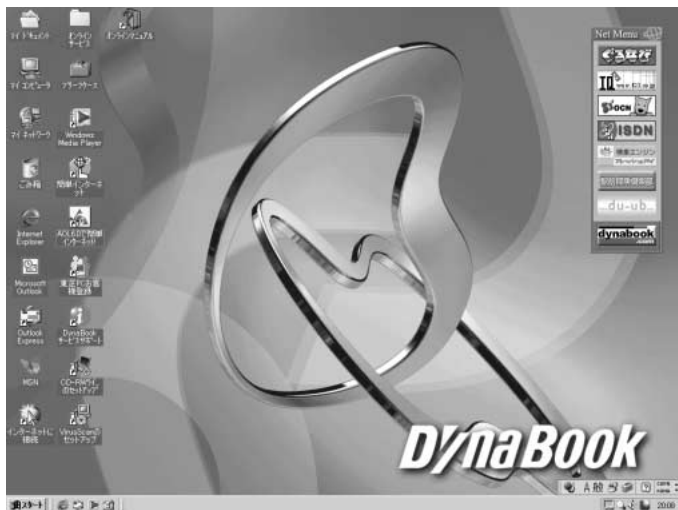
1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる

2 電源  アイコンが点灯するまで、電源スイッチを押す
電源  アイコンが点灯します。




電源を入れる／切る




Windows の起動画面が表示されます。



パスワードを設定している場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れるとナビパネルに「Password =」と表示されます。
設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。

 ● パスワードの入力ミスを 3 回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。

 参照  パスワード  『ハードウェアガイド 3 章 パスワードセキュリティ機能』


Windows が起動せず、不明なメッセージが表示される場合

 不明なメッセージ ⇨ 『トラブル解消 Q&A 2 章 Q&A』

スタンバイ機能やパネルスイッチ機能が稼働している場合

スタンバイ機能を実行していた場合、または休止状態にしていた場合は、実行する直前の状態が再現されます。

パネルスイッチ機能を設定していた場合、ディスプレイを開けると、自動的に電源が入ります。



 スタンバイ機能、休止状態 ⇨ 「本章 3 パソコンの使用を中断する」
パネルスイッチ機能
⇨ 「本章 4 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断するとき」

2

電源を切る



- 電源を切るときは、ハードディスクまたは光ディスクにアクセスしていないか確かめてください。また、メディアが入っていて光ディスクにアクセスしている場合には、イジェクトボタンを押さないでください。

光ディスク（）アイコンはメディア検出のため、1 秒おきに点滅を繰り返します。光ディスク（）アイコンの点滅を止めるには、マルチドライブまたは CD-R/RW ドライブの自動メディア検出機能をオフにしてください。



自動メディア検出機能のオフ

➔『ハードウェアガイド 1 章 2 ナビパネルとジョグボタン』

- ディスプレイを閉じる場合は、衝撃を与えないように静かに閉じてください。

Windows を終了すると、パソコン本体の電源が切れます（電源オフ）。必ず手順に従って電源を切ってください。

周辺機器の電源は、パソコン本体の電源を切った後に切ってください。

1 データを保存し、アプリケーションを終了する


2 [スタート] → [Windows の終了] をクリックする





(表示例)

3 「終了」が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする



-  ● パソコンの使用を中断したときの状態をいったん保存して、またすぐ使う場合は、スタンバイ機能を実行、または休止状態にすることができます。

-  ● パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。故障の原因になります。

 参照 スタンバイ機能、休止状態 ➡ 「本章 3 パソコンの使用を中断する」

3

パソコンの使用を中断する

パソコンの使用を一時的に中断したいとき、スタンバイ機能を実行したり、休止状態にすると、パソコンの使用を中断したときの状態が保存されます。パソコンの使用を中断したときの状態をメモリに保存するのが「スタンバイ機能」、ハードディスクに保存するのが「休止状態」です。

再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断した時の状態が再現されます。



- スタンバイ機能の実行中や休止状態では、バッテリーや増設メモリの取り付け／取りはずしは行わないでください。データの消失や感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

スタンバイ機能

作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。

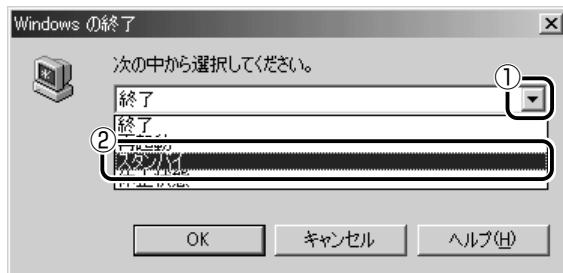
スタンバイ機能を実行するとすばやく状態が再現されますが、休止状態にしたときよりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうとデータは消失しますので、スタンバイ機能を実行する場合は、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

1 [スタート] → [Windows の終了] をクリックする



(表示例)

2 ▼ ボタンをクリックし、[スタンバイ] を選択する



3 [OK] ボタンをクリックする

メモリへの保存が終わると、画面が真っ暗になります。

4 スリープ（アイコンが点灯しているか確認する



- スタンバイ状態は、表示画面が消えていても電源 ON の状態です。スタンバイ状態でお使いになる場合は、次の「警告」や「注意」の指示を必ずお守りください。

⚠ 警告

- ・ パソコン本体を航空機や病院に持ち込む場合、スタンバイ機能を使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

- ・ スタンバイ中は、増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スタンバイ中は電源が入っていますので、増設メモリの取り付け／取りはずしを行うと、感電、故障のおそれがあります。

休止状態

パソコンの使用を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、状態を再現することができます。パソコンをバッテリー駆動（AC アダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。

1 休止状態を有効に設定する

- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックし (☒), [OK] ボタンをクリックする

休止状態が有効になります。



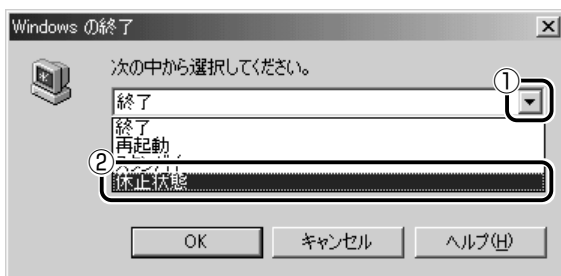
- [コントロールパネル] 画面に [東芝省電力] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

2 [スタート] → [Windows の終了] をクリックする



(表示例)

3 ▼ ボタンをクリックし、[休止状態] を選択する



4 [OK] ボタンをクリックする


5 スリープ アイコンが点灯しているか確認する

[スタート] メニューから以外にも、電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときにもスタンバイ機能を実行したり、休止状態にすることができます。

その場合は、設定が必要です。



- 休止状態にするときは、メモリの内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。

スリープ  アイコンが点灯するまでは、バッテリーパックをはずしたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。



詳細について

☞ 「本章 4 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断するとき」

再起動

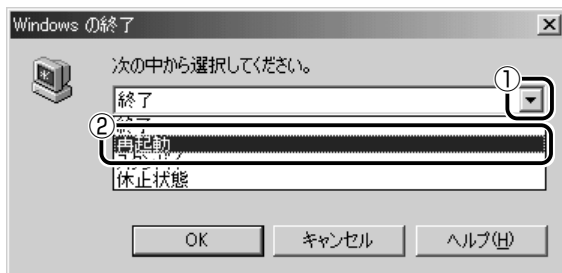
いったん Windows を終了した後、すぐにもう 1 度起動することを再起動といいます。パソコンの設定を変えたときや、パソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。

1 [スタート] → [Windows の終了] をクリックする



(表示例)

2 ▼ ボタンをクリックし、[再起動] を選択する



3 [OK] ボタンをクリックする

4

簡単に電源を切る ／パソコンの使用を中断するとき

〔スタート〕メニューから操作せずに、電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ）、またはスタンバイ／休止状態にすることができます。

電源スイッチを押す

休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。

- ①〔スタート〕→〔設定〕→〔コントロールパネル〕をクリックする
- ②〔東芝省電力〕アイコンをダブルクリックする
- ③〔休止状態〕タブで〔休止状態をサポートする〕をチェックし（☒）、〔OK〕ボタンをクリックする
休止状態が有効になります。



- 〔コントロールパネル〕画面に〔東芝省電力〕アイコンが表示されていない場合は、画面左の〔すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。〕をクリックしてください。

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

- ①〔スタート〕→〔設定〕→〔コントロールパネル〕をクリックする
- ②〔東芝省電力〕アイコンをダブルクリックする
- ③〔電源設定〕タブで設定する省電力モードを選択し、〔詳細〕ボタンをクリックする
- ④〔動作〕タブの〔電源ボタンを押したとき〕で〔スタンバイ〕〔休止状態〕〔電源オフ〕のいずれかを選択する
- ⑤〔OK〕ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると電源を切る、またはパソコンの使用を中断することを、パネルスイッチ機能といいます。

休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。

- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックし (☒)、
[OK] ボタンをクリックする
休止状態が有効になります。

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ③ [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で [スタンバイ] [休止状態] [電源オフ] のいずれかを選択する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする



- [コントロールパネル] 画面に [東芝省電力] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。
- 手順1の④で [何もしない] を選択すると、パネルスイッチ機能は働きません。

2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

手順1の④で [スタンバイ] または [休止状態] を選択したときは、次にディスプレイを開くと、自動的に状態が再現されます。


3 章

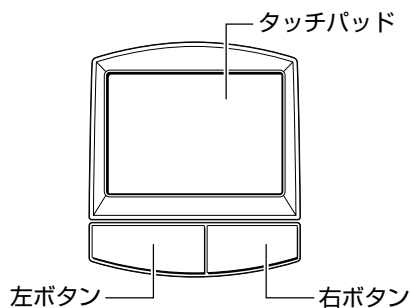
パソコンを さわってみよう

1	タッチパッドの基本操作	32
2	デスクトップとは	36
3	ウィンドウを開く	38
4	ファイルやフォルダを作る	40
5	ファイルやフォルダをコピーする	47
6	ファイルやフォルダを削除する	49

1

タッチパッドの基本操作

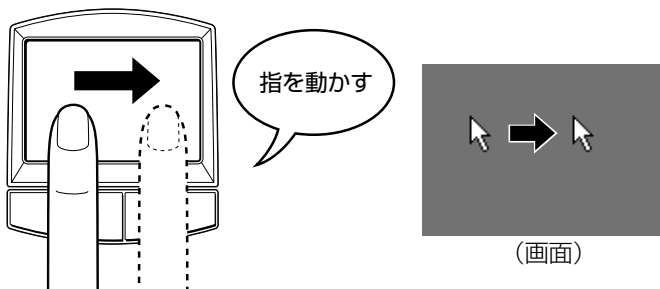
画面上に表示される（）を「マウスポインタ」といいます。タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使って、マウスポインタを動かし、パソコンを操作します。



- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなど先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが壊れるおそれがあります。

マウスポインタを動かす

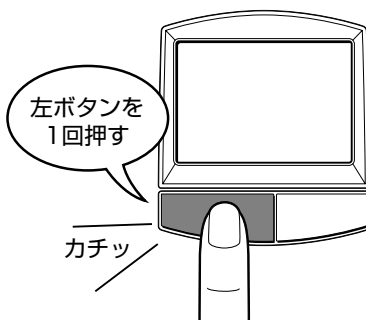
タッチパッドに指を置き、指を上下左右に動かすと、マウスポインタが指の方向にあわせて動きます。



- メモ** ● 指がタッチパッドの端までできてしまいそれ以上動かせなくなったときは、いったん指をタッチパッドから離して、指をタッチパッドの中央に置き直して操作します。

クリックする

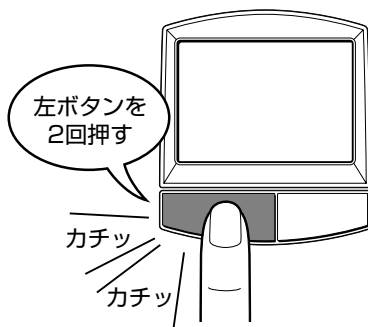
マウスポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを1回押すことです。文字やアイコンを選択することができます。



ダブルクリックする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく2回押すことです。

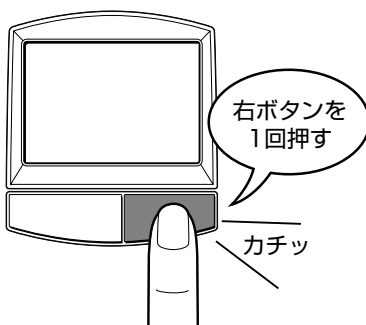
ファイルを開いたり、アプリケーションを起動できます。



右クリックする

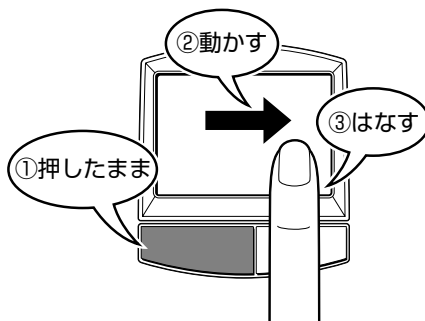
マウスポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを1回押すことです。

メニューが表示されるので、行いたいことを選択します。



ドラッグアンドドロップする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを押したまま①、タッチパッドでマウスポインタを動かします②（ドラッグ）。マウスポインタが目的の位置に移動したら、左ボタンから指をはなします③（ドロップ）。



ここで説明した内容はタッチパッドの基本的な機能です。



タッチパッドの設定や機能

➡『ハードウェアガイド 1 章 4 タッチパッド』

2

デスクトップとは

パソコンに表示される画面全体をデスクトップといいます。

デスクトップとは「机の上」のことで、画面全体を机、パソコンを使って動かすものを文房具などの道具にたとえたいいかたです。パソコンでも机の上のように、いろいろな道具を使って作業することができます。

ここでは、デスクトップに表示されているものの役割を確認しましょう。

マイ ドキュメント

自分で作った文書などを保存する場所です。

マイ コンピュータ

お使いのパソコンの構成を知ることができます。

ごみ箱

いらなくなったファイルをいったんここに捨て、まとめて消去します。

アイコン

よく使うファイルやアプリケーションが、絵のマークで表示されます。

クイック起動ボタン

通常はアイコンや [スタート] メニューから起動するものを、ボタンをクリックするだけで簡単に起動できます。

【スタート】 ボタン

このボタンをクリックすると、[スタート] メニューが表示されます。マウスポインタでメニューの階層をたどってクリックすると、目的の操作を始めることができます。





- Windowsの使いかたについては、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』、または[スタート] → [ヘルプ]をクリックして、『ヘルプとサポート』をご覧ください。



タスクバー


現在、Windows上で作業しているものの名前が一覧表示されます。右端にはいろいろなアイコンが表示され、音量などの設定が手軽にできます。また、バッテリーの状態も確認できます。

3

ウィンドウを開く

Windows では、1 つ 1 つのデータや道具を窓のかたち（ウィンドウ）で開き、操作します。

「マイ ドキュメント」のウィンドウを開いてみましょう。

- 1 デスクトップにある [マイ ドキュメント] アイコン () にマウスポインタをあわせ、ダブルクリックする
[マイ ドキュメント] のウィンドウが開きます。

タイトルバー

ウィンドウの名前が表示されます。この部分にマウスポインタをあわせてドラッグすると、ウィンドウを移動することができます。

メニューバー

それぞれのボタンをクリックすると、メニューが表示されます。項目をクリックして、いろいろな指示を出すことができます。

ツールバー

メニューバーのメニューの中で、よく使う指示がボタンで表示されます。

アドレスバー

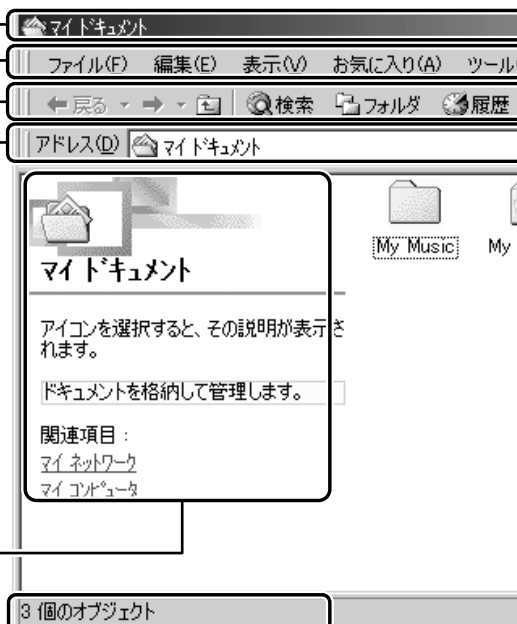
開いているウィンドウが、パソコンのどこにあるのかを表示します。

ウィンドウ説明

ウィンドウの名前やアイコンの内容説明が表示されます。

ステータスバー

ウィンドウの状態などが表示されます。





- ここからは、表示される画面全体のことを「デスクトップ」、開いたウィンドウのことを「画面」と呼びます。
- ウィンドウの境界線にマウスポインタをあわせると、矢印が（↔）の形に変わります。その状態でドラッグ（左ボタンを押したままマウスポインタを動かす）すると、ウィンドウの大きさを変えることができます。



4

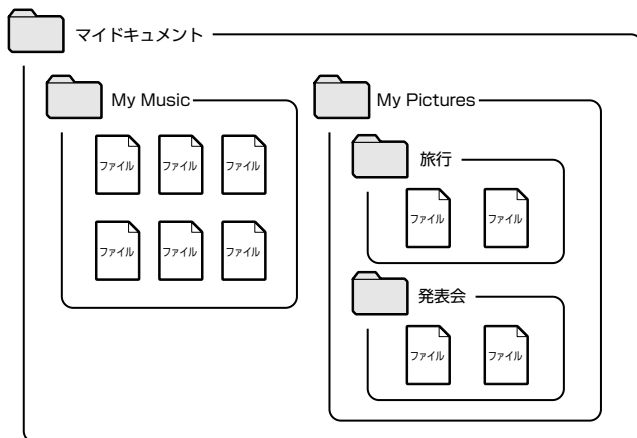
ファイルやフォルダを作る

パソコンのデータは、「ファイル」の単位で保存・整理します。
ファイルにはいろいろな種類があります。ファイルの種類ごとに違うアイコンで表示されます。

このようなアイコンが使われています。



また、ファイルをまとめておく入れものを「フォルダ」といいます。フォルダの中にはさらにフォルダを入れて、細かく分類することができます。
先ほど開いた「マイ ドキュメント」もフォルダです。



Windows は、たくさんのファイルやフォルダで構成されています。
ここでは、フォルダとファイルを自分で新しく作成し、管理する方法について説明します。

フォルダを作る

[マイ ドキュメント] の中に、フォルダを作ってみましょう。

1 [マイ ドキュメント] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする

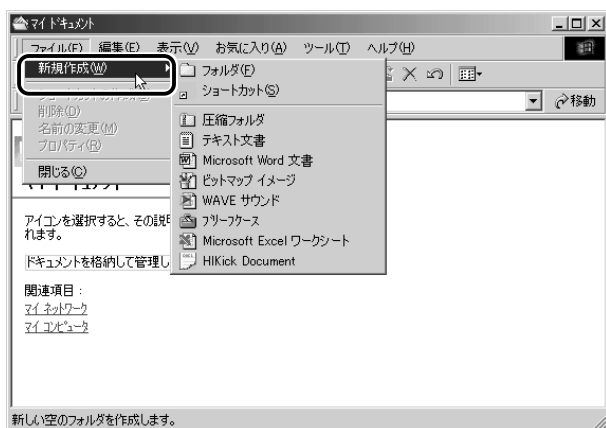
メニューが表示されます。



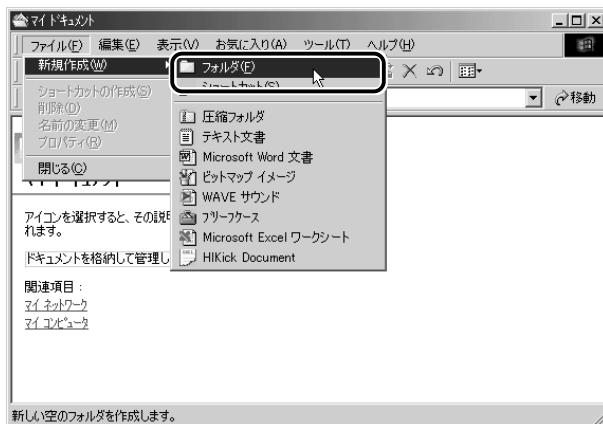
パソコンをさわってみよう

2 マウスポインタを [新規作成] にあわせる

右端の ▶ の右にメニューが表示されます。



3 [フォルダ] にマウスポインタをあわせ、クリックする



「マイドキュメント」の中に、「新しいフォルダ」が作成されます。



フォルダ名が反転表示されて確定していない場合は、「マイドキュメント」の中の何もないところにマウスポインタを移動してクリックすると、フォルダ名がそのまま「新しいフォルダ」で確定されます。


これで、「マイドキュメント」の中に、「新しいフォルダ」を作ることができました。

ファイルを作る

フォルダを作ったら、その中にファイルを作ってみましょう。
ここでは、「テキスト文書」ファイルの作りかたについて説明します。

1 [新しいフォルダ] をダブルクリックする

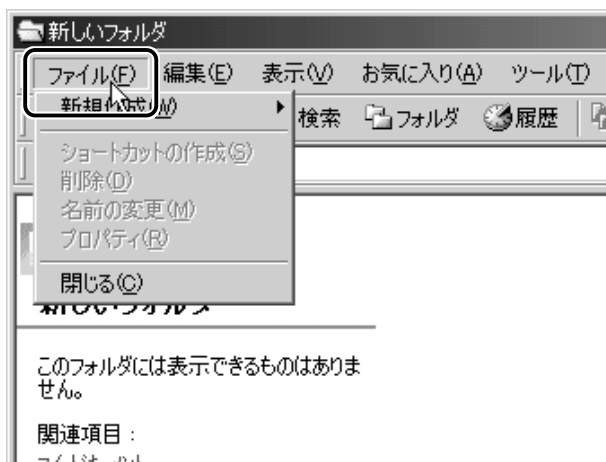
「マイ ドキュメント」画面が消えて、「新しいフォルダ」画面が開きます。

画面の中にあるフォルダを開くと、フォルダの内容が表示されます。ひとつ上の階層のフォルダ画面（ここでは「マイ ドキュメント」画面）をもう 1 度表示させる場合は、ツールバーの「上へ」ボタン（）をクリックしてください。



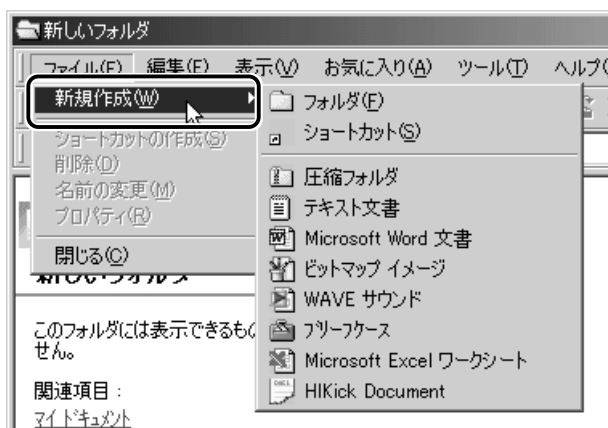
2 [新しいフォルダ] 画面で、メニューバーの「ファイル」をクリックする

メニューが表示されます。

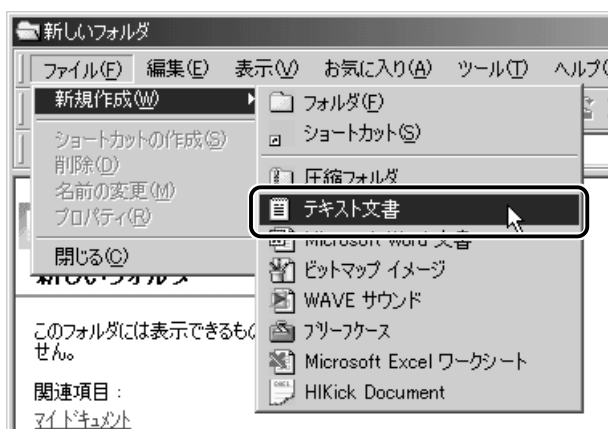


3 マウスポインタを「新規作成」にあわせる

右端の ▶ の右にメニューが表示されます。



4 「テキスト文書」にマウスポインタをあわせ、クリックする



- **テキスト文書** ● 文字だけを入力するための形式です。文字の種類を変えたり、図を入れたりすることはできません。

「新しいフォルダ」の中に、「新規テキスト文書」が作成されます。ファイル名が反転表示されて確定していない場合は「新しいフォルダ」の中の何も無いところをクリックして、ファイル名をそのまま「新規テキスト文書」で確定してください。



これで、「新しいフォルダ」の中に、「新規テキスト文書」ファイルを作ることができました。

フォルダやファイルの名前を変更する

フォルダやファイル名を反転表示させると、文字を入力して名前をつけることができます。

フォルダやファイル名は、次の手順で反転表示できます。

1 フォルダやファイルのアイコンをクリックして選択する

2 少し間をおいてアイコンのファイル名の部分をクリックする、またはメニューバーの [ファイル] → [名前の変更] をクリックする

フォルダやファイル名が反転表示されます。

ここでは、ファイルの名前は [新規テキスト文書] のまま説明を進めます。[新しいフォルダ] の中の何も無いところをクリックして、次に進んでください。

5

ファイルやフォルダをコピーする

ファイルやフォルダは、簡単に複製を作る（コピーする）ことができます。ここでは、[新しいフォルダ] の中に作った [新規テキスト文書] を [マイドキュメント] フォルダにコピーしてみましょう。

1 [新しいフォルダ] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする

アイコンが反転表示されます。



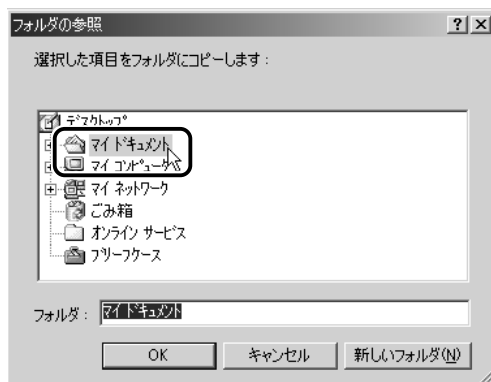
2 ツールバーの [コピー先] ボタン () をクリックする

[フォルダの参照] 画面が表示されます。




3 [フォルダ] 欄が[マイ ドキュメント]になっているか確認する

他の場所になっている場合は、一覧から[マイ ドキュメント]をクリックしてください。



4 [OK] ボタンをクリックする

これで[新規テキスト文書]をコピーすることができました。
[上へ] ボタン () をクリックすると、1 つ上の階層にある[マイドキュメント] 画面が表示されます。
[新規テキスト文書] があることを確認してください。



6

ファイルやフォルダを削除する

ファイルやフォルダを削除するときは、いったん「ごみ箱」フォルダに入れてから、まとめて消去します。誤ってファイルやフォルダを削除してしまった場合、「ごみ箱」フォルダにあるうちは、元の場所に戻してまた使うことができます。

「マイドキュメント」にコピーした「新規テキスト文書」を削除してみましょう。

1 「マイドキュメント」画面で「新規テキスト文書」をクリックする

アイコンが反転表示されます。



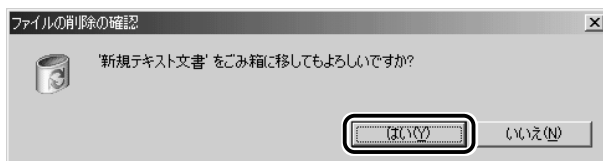
2 ツールバーの「削除」ボタン () をクリックする

「ファイルの削除の確認」画面が表示されます。



3 [はい] ボタンをクリックする

[マイ ドキュメント] フォルダから [新規テキスト文書] が消えますが、ファイルはなくなったわけではありません。[ごみ箱]の中に移動しています。




4 デスクトップの [ごみ箱] アイコン () をダブルクリックする

[ごみ箱] 画面が開き、削除した [新規テキスト文書] が表示されます。



- 5 [ごみ箱] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする
アイコンが反転表示されます。

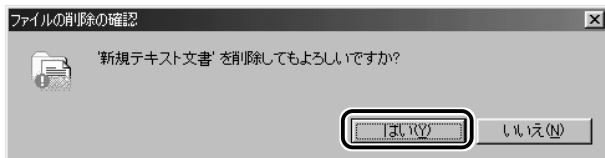


- 6 ツールバーの [削除] ボタン () をクリックする
[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。



- [ごみ箱] から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行なってください。

- 7 [はい] ボタンをクリックする

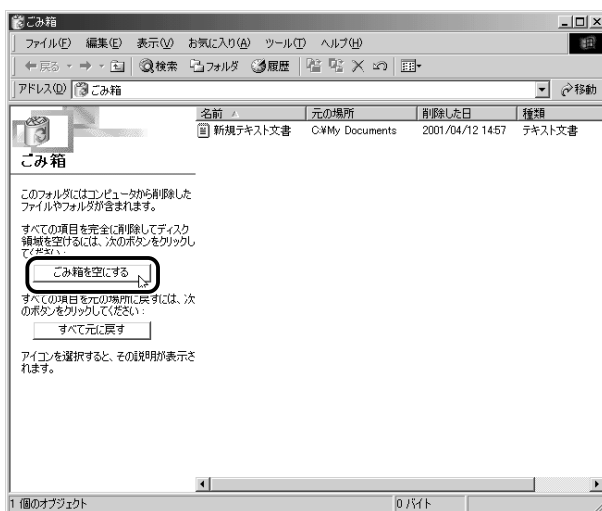


〔新規テキスト文書〕が完全に削除されます。



まとめて削除する方法

〔ごみ箱〕画面でファイルやフォルダ名を選択せずに、〔ごみ箱を空にする〕ボタンをクリックした場合は、〔ごみ箱〕にあるファイルやフォルダすべてを削除することができます。



- 〔ごみ箱〕から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行ってください。

ごみ箱に入れたファイルを元に戻す

「ごみ箱」にあるファイルやフォルダを元に戻すときは、次の手順で行います。

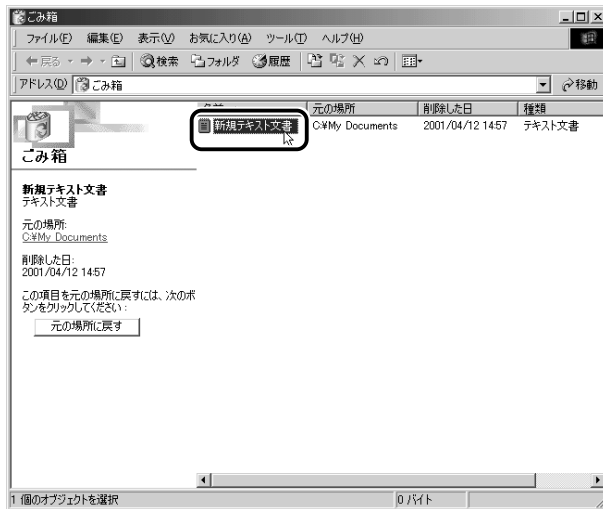
1 デスクトップの「ごみ箱」アイコン () をダブルクリックする

「ごみ箱」画面が開きます。



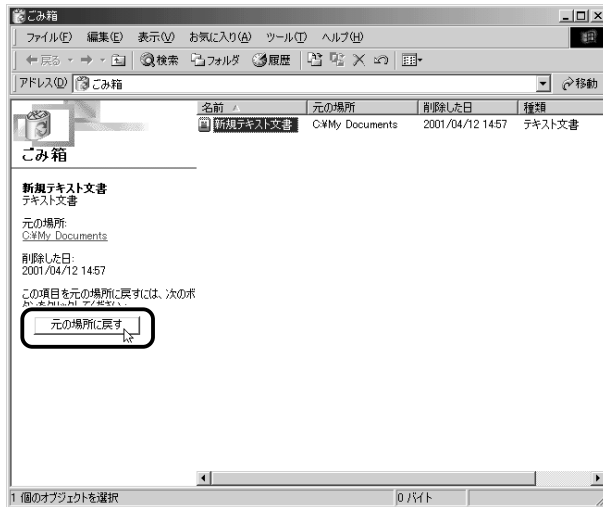
2 [ごみ箱] 画面で元に戻したいファイルやフォルダをクリックする

選択したファイルやフォルダが反転表示されます。



3 [元の場所に戻す] ボタンをクリックする

選択したファイルやフォルダが、元の場所に戻ります。



- フロッピーディスクから削除したファイルやフォルダを元に戻すことはできません。フロッピーディスクのデータは削除すると、完全に失われてしまい、[ごみ箱] フォルダには入りません。

4 章

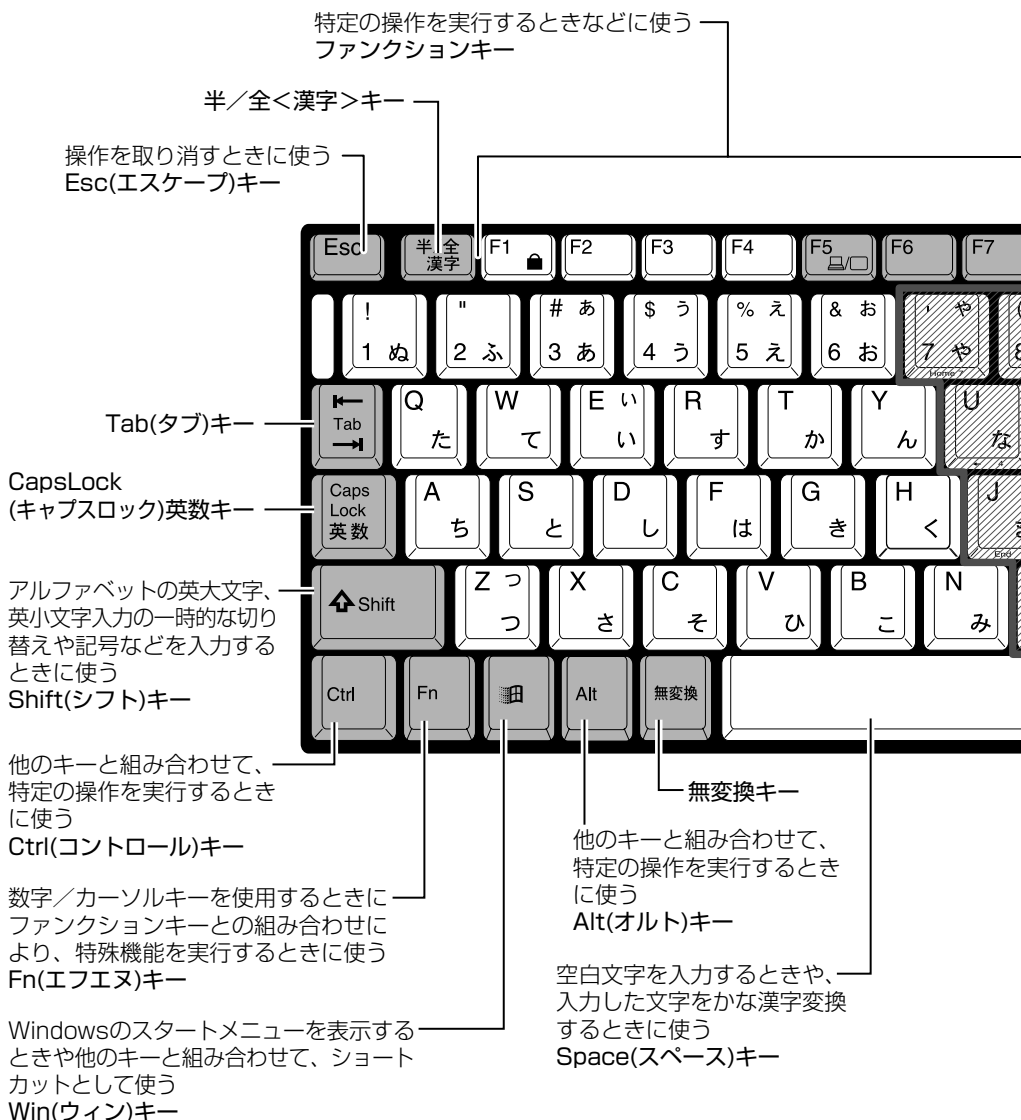
文字を入力してみよう

1	キーボードについて	56
2	メモ帳を開く	59
3	文字を入力する	60
4	文書を保存する	80
5	ローマ字入力一覧表	84
6	キー操作一覧	86

1

キーボードについて

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。





文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。

文字キーに印刷されている2～6種類の文字や記号は、制御キーで使い分けます。

■ 左上

(Shift)キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの太文字が入力できます。

■ 右上

かな入力ができる状態で (Shift)キーを押しながら押すと、記号、ひらがなのそくろん促音 (小さい「っ」)、ようおん拗音 (小さい「ゃ、ゅ、ょ」)が入力できます。

■ 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの太文字が入力できます。
大文字固定入力状態にすると、大文字も入力できます。

■ 右下

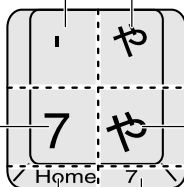
かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

■ 前面左

カーソルキー入力状態のときに押すと、カーソル制御キーとして使えます。

■ 前面右

数字入力状態のときに押すと、テンキーとして使えます。



2

メモ帳を開く

ここでは、文書ファイルにキーボードを使って文字を入力し、文書として保存する方法について説明します。

はじめに、文字を入力するファイルを開きましょう。

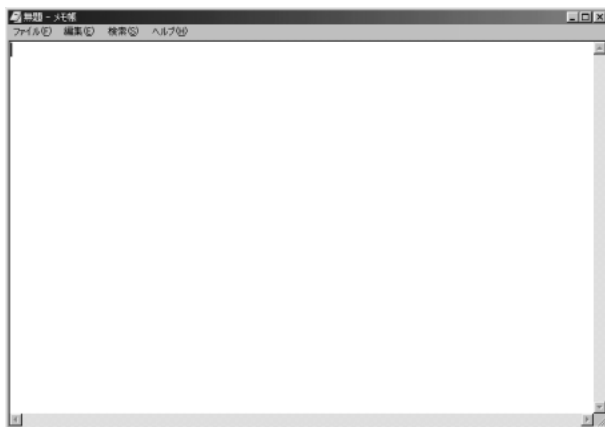
ここでは、Windows に付属のアプリケーション「メモ帳」を使って「テキスト文書」を作成します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] → [アクセサリ] → [メモ帳] までたどり、[メモ帳] をクリックする



(表示例)

「無題 - メモ帳」画面が開きます。



本章では、「無題 - メモ帳」画面に文字を入力しながら説明します。

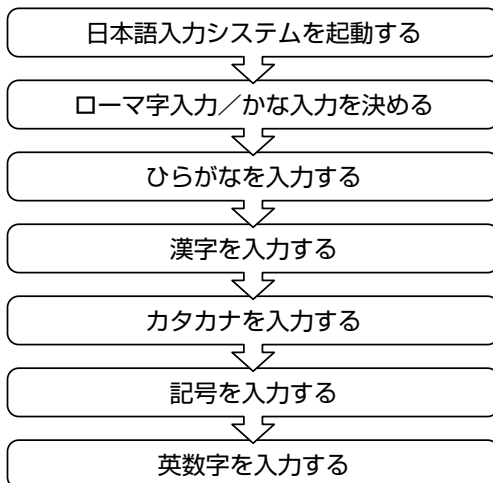
文字を入力してみよう

3

文字を入力する

ここでは、簡単な文字を入力しながら、パソコンでの文字入力について覚えましょう。

次の流れにそって進めていきます。



1 日本語を入力するには

本製品には、日本語入力システム MS-IME が用意されています。
日本語入力システムとは、日本語を入力するためのソフトウェアです。
起動したときは、英数字の入力ができるようになっています。日本語を入力できるようにするには、次の方法があります。

半/全キーを押す

日本語入力に切り替わると、IME ツールバーまたはタスクバーが次のように表示されます。

IME ツールバーを表示している場合

IME ツールバーは、デスクトップの右端に表示されています。



IME ツールバーを表示していない場合

タスクバーの右端は次のように表示されます。



パソコンで入力できる文字には、「半角」「全角」2種類の大きさがあります。
「半角」は漢字モードではないときに普通に表示される文字で、少し縦長です。
「全角」は半角を二つあわせたくらいの大きさになります。
英数字やカタカナは半角・全角どちらでも入力できます。ひらがなと漢字は全角でのみ入力できます。

例

A ア
(半角)

A ア
(全角)

2 ローマ字入力／かな入力を決める

「ローマ字入力」と「かな入力」のどちらかを選択するかによって、同じキーを押したときでも、表示される文字が異なります。

「ローマ字入力」は、キーに印刷されている英数字のとおりに入力して、ひらがなに変換する方法です。

「かな入力」は、キーに印刷されているひらがなのとおりに入力する方法です。日本語入力システムを起動したときの標準設定は、ローマ字入力になっています。

例：「かな」と入力する

ローマ字入力：(K)(A)(N)(A)の順にキーを押すと、「KA」→「か」「NA」→「な」と変換され「かな」と入力される

かな入力：(か)(な)の順にキーを押すと、「かな」と入力される



ローマ字入力について ㊦「本章 5 ローマ字入力一覧表」

かな入力で設定を変更する場合

次のどちらかの方法で設定してください。

キーボードで設定する

1 (Alt)キーを押したまま、(カタカナひらがな)キーを押す

もう1度押すと、ローマ字入力に戻ります。


また、パソコンの電源を切り、再び電源を入れると、ローマ字入力に戻ります。

かな入力で設定を変更すると、IME ツールバーは次のように表示されます。



囲み枠が表示されます。


画面上で設定する

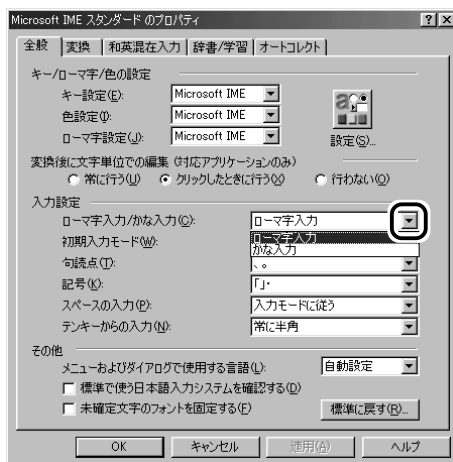
- 1 IME ツールバーの [ツール] アイコン () をクリックし、[プロパティ] をクリックする



[Microsoft IME スタンダードのプロパティ] 画面が表示されます。

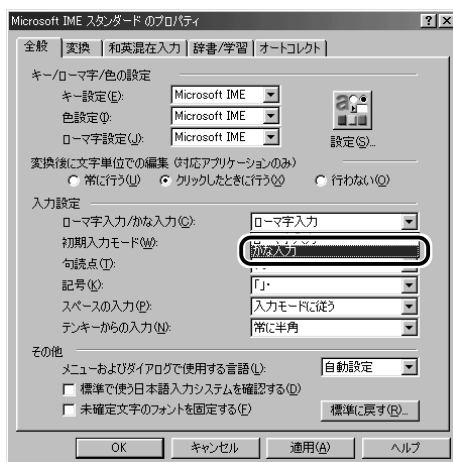


- 2 [全般] タブで、[入力設定] の [ローマ字入力／かな入力] ボックスの右にある  ボタンをクリックする
[ローマ字入力]、[かな入力] のメニューが表示されます。



- **タブ** ● タイトルバーの下に表示されている見出しのこと。
タブ名だけが見えているので、目的のタブ名をクリックすると、
クリックしたタブが1番上に表示される。

- 3 [かな入力] をクリックする



4 [OK] ボタンをクリックする



3 ひらがなを入力する

「こんばんは」と入力する

●ローマ字入力の場合

(K)(O)(N)(N)(B)(A)(N)(N)(H)(A)と、キーボードのキーを順に押す

●かな入力の場合

(こ)(ん)(は)(ん)(は)と、キーボードのキーを順に押す

こんばんは|

日本語を入力すると、文字の下に点線がつきます。これは、この文字が漢字変換できることを表しています。

ここでは、ひらがなで入力したら、(Enter)キーを押して確定してください。

文字の下線が消えます。

こんばんは|



- **確定** ● 文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、1度削除して入力し直す。

4 漢字を入力する

漢字を入力するには、まずひらがなを入力し、漢字に変換します。

「鼻」と入力する

- ローマ字入力の場合

(H)(A)(N)(A)と、キーボードのキーを順に押す

- かな入力の場合

(は)(な)と、キーボードのキーを順に押す

はな|

(Space)キーを押すと、漢字に変換されます。

花|

目的の漢字ではない場合は、もう1度(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。



一覧から(Space)または(↑)(↓)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

鼻|

5 カタカナを入力する

カタカナを入力したい場合は、漢字の変換と同じように、ひらがなをカタカナに変換することができます。

「パーティー」と入力する

●ローマ字入力の場合

(P)(A)(T)(H)(I) と、キーボードのキーを順に押す
「てい」は(T)(E)(X)(I)と、キーを押しても入力できます。

●かな入力の場合

(は)(て)(い) (Shift)キーを押したまま (て)(い) と、キーボードのキーを順に押す

ぱーていー|

(Space)キーを押すと、「パーティー」と変換されます。(Enter)キーを押して確定してください。

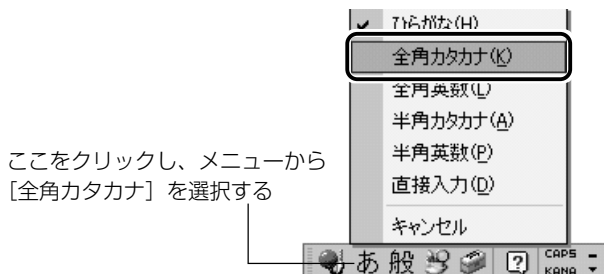
パーティー|



- (F7)キーを押すと、必ず全角カタカナに変換されます。日本語入力の辞書に登録されていないカタカナの単語を入力するときに便利です。

直接カタカナを入力する

カタカナのみを入力するときや、正しくカタカナに変換されにくい文字は、あらかじめ入力モードを切り替えてから入力しましょう。



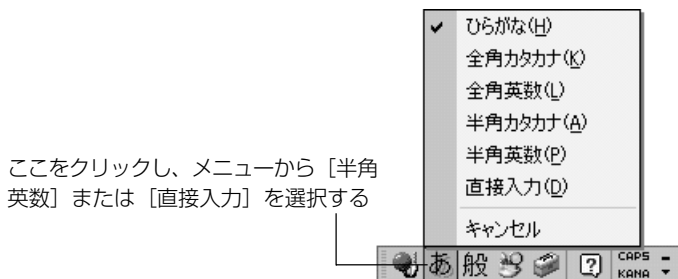
IME ツールバーは次のようになります（ローマ字入力の場合）。



6 記号を入力する


読点（、）や句点（。）などの記号は、文字と同じように入力できます。

入力モードを「半角英数」や「直接入力」に変更する場合は、次のように操作します。



参照 IME パッド ➡ 「本節 8- 読みかたがわからない文字を入力する」

よく使う記号の入力方法は次のとおりです。

記 号	ローマ字入力の場合	かな入力の場合
「。」（句点）	 キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す
「、」（読点）	 キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す
「?」（疑問符）	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押し、(Space) キーを押して変換する
「!」（感嘆符）	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押し、(Space) キーを押して変換する

インターネットなどでよく使う文字の入力方法は次のとおりです。入力モードを「直接入力」に切り替えてから入力してください。

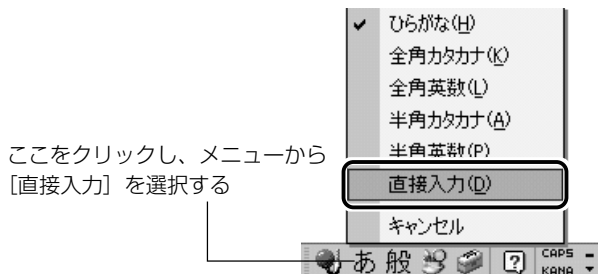
記 号	キー
@（アットマーク）	 キーを押す
_（アンダーバー）	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す
-（ハイフン）	 キーを押す
/（スラッシュ）	 キーを押す
~（チルダ）	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す

7 英数字を入力する

入力モードを「直接入力」に切り替えて入力します。

「ひらがなまたはカタカナ入力」⇔「直接入力」の切り替えは、(半/全)キーを押すと簡単にできます。

また、ツールバーでも次のように変更できます。



IME ツールバーは次のようになります。



「sunday」と入力する

ⒺⒾⒸⒶⓃⓎと、キーボードのキーを順に押す

sunday|

英字が小文字で表示されます。

直接入力の場合は、文字を入力するだけで、自動的に確定されます。

8 入力がうまくできないとき

文字を削除する

文字を確定する前に間違えたときには

(BackSpace)キーを押すと、右から順に画面上の文字が消えます。

こんばん|

その後、正しい文字を入力し直してください。

文字を確定した後で1文字ずつ削除する

(→)(←)(↑)(↓)キーでカーソルを、消したい文字の右側に移動し、(BackSpace)キーを押します。

また、(Del)キーを押すと、カーソルの1つ右側にある文字が消えます。

文字を確定した後で範囲を選択して削除する

一定の範囲の文字をまとめて削除することもできます。

マウスポインタを消したい範囲のはじめの文字の左側に移動し、クリックします。

消したい範囲をドラッグして選択します。

こんばんは
来週パーティーを開きます。

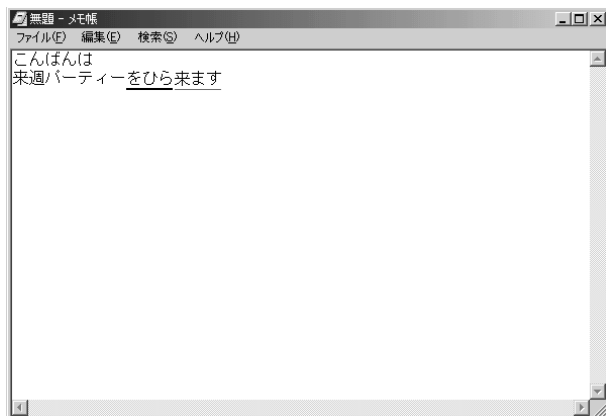
(Del)または(BackSpace)キーを押すと、選択した範囲が消えます。

こんばんは
|パーティーを開きます。

変換の区切りを変える

ひらがなを漢字やカタカナに変換するとき、変換する区切りを指定することができます。

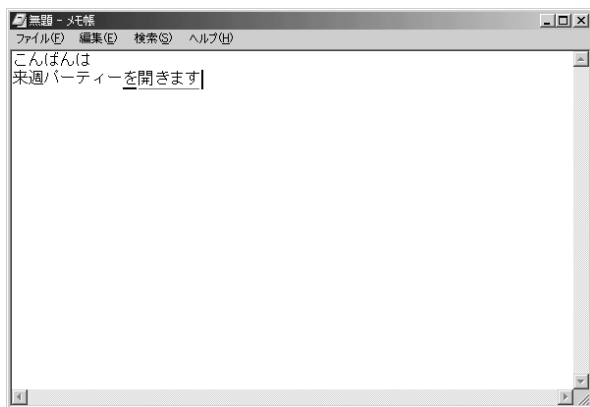
「をひらきます」と入力し、(Space)キーを押したとき、「をひら来ます」と変換された場合などは、区切りの範囲を指定して変換し直します。



(Shift)+(←)、(→)キーで範囲を指定してください。




(Space)キーを押すと、変換の区切りを変更して変換されます。
次の区切りの再変換が必要な場合は、(→)キーで太い下線を移動し、
(Space)キーを押します。



入力するキーがわからないとき

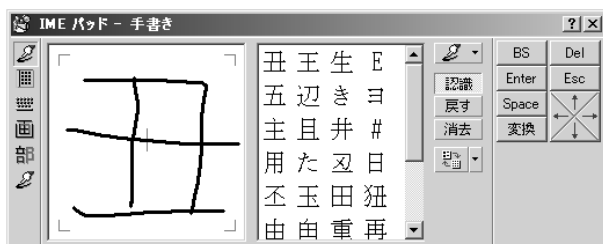
ローマ字入力の場合、どのキーを押せば目的の文字が入力されるかわからないときは、「ローマ字入力一覧表」を見ながら入力してください。

参照  「本章 5 ローマ字入力一覧表」

2 「丑」という字を描く

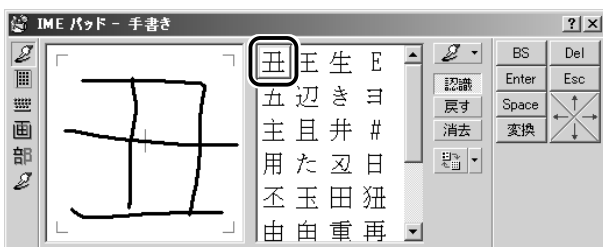
「ここにマウスで文字を描いてください。」と書かれた部分に、ポイントで「丑」という字を書きます。

右側の文字の一覧に、似ている文字が表示されます。



3 一覧から「丑」をクリックする

「丑」が挿入されます。




4 [Enter] ボタン (Enter) をクリックする

文字が確定します。

入力した文字を削除したり、カーソルを移動したい場合などは、画面右のボタンをクリックします。各ボタンはキーと同じ働きをします。




記号の「☆（ほし）」を入力する場合

- 1 IME ツールバーの [IME パッド] アイコン () をクリックし、[文字一覧] をクリックする



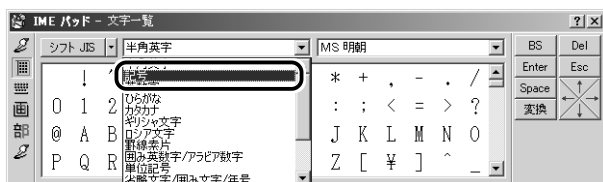
[IME パッド - 文字一覧] 画面が表示されます。



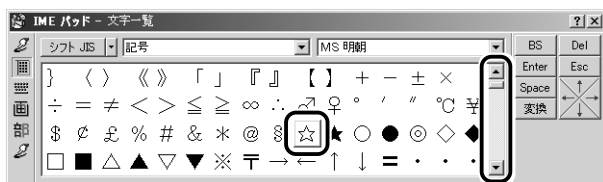
- 2 「半角英字」と表示されているボックスの右にある  ボタンをクリックする




- 3 表示されたメニューから、[記号] をクリックする
記号の一覧が表示されます。



- 4 スクロールバーを使って目的の記号を探し、クリックする
記号がカーソルの位置に入力されます。



—スクロールバー


- 5 [Enter] ボタン () をクリックする
記号が確定します。

入力した記号を削除したり、カーソルを移動したい場合などは、画面右のボタンをクリックします。各ボタンはキーと同じ働きをします。



ヘルプの起動

日本語入力システム MS-IME の詳しい使いかたについては、次の手順で『MS-IME のオンラインヘルプ』をご覧ください。

- 1 [ヘルプ] ボタン () をクリックし、[Microsoft(R) IME スタンダード 2002] をたどり、[目次とキーワード] をクリックする



文字を入力してみよう

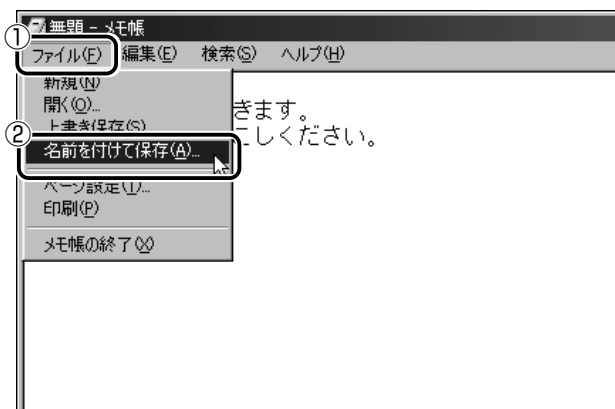
4

文書を保存する

作成した文書を保存して、パソコンの中に保存しておきましょう。

- 1 [無題 - メモ帳] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [名前を付けて保存] をクリックする

[名前を付けて保存] 画面が開きます。



[ファイル名] に、「無題」の文字が反転表示されています。反転表示されていない場合は、「無題」の文字をクリックしてください。



2 日本語入力になっているか確認する

日本語入力ができない場合は、(半/全)キーを押してください。

3 [ファイル名] 欄に「練習」と入力する

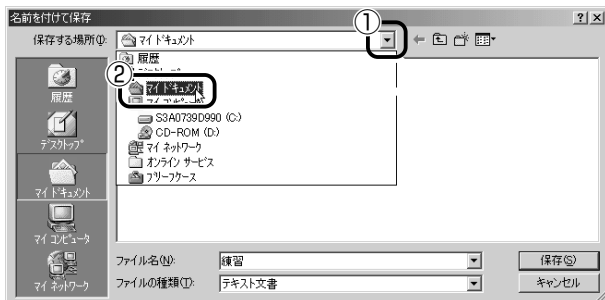
「れんしゅう」と入力してから、(Space)キーを押して漢字に変換します。(Enter)キーを押して確定してください。



4 [保存する場所] が [マイドキュメント] になっているか確認する

他の場所になっている場合は、ボックス右端の ▼ ボタンをクリックして、場所のメニューを表示します。


[マイドキュメント] をクリックしてください。



5 「保存」ボタンをクリックする



6 画面のタイトルを確認する

保存したら、開いていた「無題 - メモ帳」画面のタイトルが「練習 - メモ帳」になっているか確認してください。保存したファイルは、画面右上の「閉じる」ボタン（）で閉じることができます。

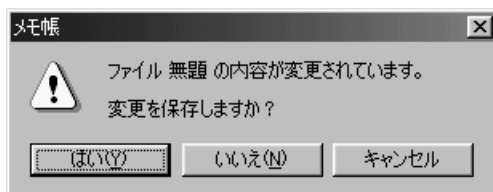


「練習」を閉じたら、「マイドキュメント」を開いて「練習」のファイルがあるか確認してください。



ファイルを保存せずに閉じた場合

保存されていないファイルの画面を閉じようとする、「変更を保存しますか？」などのメッセージ画面が表示されます。



変更を保存するとき

[はい] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、本節手順2以降の操作を行なってください。

入力した文字などを保存しないとき

[いいえ] ボタンをクリックします。ファイル画面が閉じます。

この場合、ファイルは保存されません。

元のファイル画面に戻るとき

[キャンセル] ボタンをクリックします。

この場合、ファイルは保存されず、編集画面に戻ります。

5

ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

ローマ字が2種類以上載っている欄は、最上段がヘボン式のつづりです。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
た	た	ち	つ	て	と
	ta	chi ti	tsu tu	te	to
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
わ	わ				を
	wa				wo
ん	ん				
	n* nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji zi	zu	ze	zo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	ji di	zu du	de	do
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po

* : nに続けて子音 (k、s、t、nなど) が入力されると「ん」になります。

あ	い	う	え	お
xa la	xi li	xu lu	xe le	xo lo
きゃ	きい	きゅ	きえ	きょ
kya	kyi	kyu	kye	kyo
しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
sha sya	syi	shu syu	she sye	sho syo
		っ ^{*1}		
		xtu ltu		
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちょ
cha tya cya	tyi cyi	chu tyu cyu	che tye cye	cho tyo cyo
てや	てい	てゅ	てえ	てよ
tha	thi	thu	the	tho
にや	にい	にゅ	にえ	にょ
nya	nyi	nyu	nye	nyo
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひょ
hya	hyi	hyu	hye	hyo
ふあ	ふい		ふえ	ふお
fa	fi		fe	fo
ふや	ふい	ふゅ	ふえ	ふょ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
みゃ	みい	みゅ	みえ	みょ
mya	myi	myu	mye	myo
や		ゅ		ょ
xya lya		xyu lyu		xyo lyo
りゃ	りい	りゅ	りえ	りょ
rya	ryi	ryu	rye	ryo
	ゐ ^{*2}		ゑ ^{*2}	
	wi		we	
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
gya	gyi	gyu	gye	gyo
じゃ	じい	じゅ	じえ	じょ
ja zya	zyi	ju zyu	je zye	jo zyo
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びい	びゅ	びえ	びょ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴょ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
va	vi	vu	ve	vo
ヴァ ^{*3}	ヴィ	ヴュ	ヴェ	ヴォ
vya	vyi	vyu	vye	vyo

* 1 : 通常は後ろの子音を2つ続けて入力します。【例】「いった」→ itta

* 2 : キーボードで入力した後、変換してください。

* 3 : 「ヴ」にひらがなはありません。

ひらがな入力モードで変換したときはカタカナに変換する必要があります。

6

キー操作一覧

入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内 容	
Ctrl + CapsLock 英数	カナ入力 固定状態	この状態で文字キーを押すと、キートップ右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
Shift + CapsLock 英数	大文字入力 固定状態	この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。

カナ入力固定や大文字入力固定状態を解除するには、もう 1 度同じキー操作をします。入力固定状態の優先度は、カナ入力固定状態＞大文字入力固定状態です。

Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
Fn + F1	<p>「模様なし」のスクリーンセーバーが実行され、画面が暗くなります。</p> <p>スクリーンセーバーを解除するには、何かキーを押すか、タッチパッドの操作を行なってください。</p> <p>スクリーンセーバーのパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。パスワードは、[画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで設定してください。</p>
Fn + F5 〈表示装置の切り替え〉	<p>表示装置を切り替えます。</p> <p>Fn + F5 キーを押すことにより、現在の表示から、次の順で表示が切り替わります。</p> <p>→内部→同時→外部</p> <p>内部：液晶ディスプレイ 同時：液晶ディスプレイと TV 外部：TV</p>
Fn + F10 〈カーソルキー入力状態〉	<p>カーソルキーのオン／オフが切り替わります。</p>
Fn + F11 〈数字入力状態〉	<p>数字キーのオン／オフが切り替わります。</p>
Fn + F12 〈スクロールロック状態〉	<p>画面スクロール入力状態になります。</p> <p>「Microoft Excel」 など一部のアプリケーションで ← → ↑ ↓ キーを使って画面のスクロールができます。</p>



参照 インスタントセキュリティ機能

☞ 『ハードウェアガイド 3 章 4 スクリーンセーバーパスワード』

⌘ キーを使った特殊機能キー

⌘ キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操 作
⌘ + (R)	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
⌘ + (M)	すべてをアイコン化する
(Shift) + ⌘ + (M)	すべてのアイコン化を元に戻す
⌘ + (F1)	Windows の『ヘルプとサポート』を起動する
⌘ + (E)	Windows エクスプローラを起動する
⌘ + (F)	ファイルまたはフォルダを検索する
(Ctrl) + ⌘ + (F)	他のコンピュータを検索する
⌘ + (Tab)	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⌘ + (Break)	[システムのプロパティ] 画面を表示する

特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	操 作
システムの再起動	(Ctrl) + (Alt) + (Del)	プログラムの強制終了画面が表示されます。もう 1 度押すと、システムを再起動します。
画面コピー	(Fn) + (Ins)	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	(Fn) + (Alt) + (Del)	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



- システムが操作不能になったとき以外は、(Ctrl) + (Alt) + (Del) キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

数字／カーソルキー入力機能

点線枠で示したキーを数字キーやカーソルキーとして使用できます。
同時に2つの機能は使用できません。

数字キー入力機能では、キーの前面右に印刷されている数字や記号をテンキーとして使用できます。

カーソルキー入力機能では、キーの前面左に印刷されている指示に従ってカーソルを制御できます。



文字を入力してみよう

数字キーとカーソルキーの割りあて

キー	数字キー機能	カーソルキー機能
⑦	⑦	(Home)
⑧	⑧	(↑)
⑨	⑨	(PgUp) (ページアップ)
—	—	なし
U	④	(←)
I	⑤	なし
O	⑥	(→)
@	(Enter)	(Enter)
J	①	(End)
K	②	(↓)
L	③	(PgDn) (ページダウン)
;	+	なし
:	*	なし
M	0	(Ins)
.	.	(Del)
/	/	なし

固定入力状態でカーソルキー入力機能を使う場合

点線枠で示したキーを常にカーソルキーとして使用します。

(Fn)+(F10)キーを押し、各キーを押す

解除するには、もう1度 (Fn)+(F10)キーを押します。

固定入力状態で数字キー入力機能を使う場合


点線枠で示したキーを常に数字キーとして使用します。

(Fn)+(F11)キーを押し、各キーを押す

解除するには、もう1度 (Fn)+(F11)キーを押します。

さくいん

(記号)

キーを使った特殊機能キー 88

(A)

AC アダプタアイコン 18

Alt キー 56, 57

(B)

BackSpace キー 57

Break キー 57

(C)

CapsLock 英数キー 56

CD 10

CPU 8

CRT ディスプレイ 11

Ctrl キー 56, 57

(D)

Del キー 57

DVD 10

(E)


End キー 57

Enter キー 57

Esc キー 56

(F)

キー 56

キーを使った特殊機能キー 87

(H)

Home キー 57

(I)

IME ツールバー 61

IME パッド 75

Ins キー 57

(M)

MS-IME 61

MS-IME のオンラインヘルプ 79

(O)

OS 14

(P)

Pause キー 57

PgDn キー 57

PgUp キー 57

PrtSc キー 57

(S)

SD メモリカード 11

Shift キー 56, 57

Space キー 56

SysRq キー 57

(T)

Tab キー 56

(W)

Win キー 56

(ア)

アイコン	36
アドレスバー	38
アプリケーション	15
アプリケーションキー	57

(ウ)

ウィンドウ	38
ウィンドウ説明	38

(エ)

英数字を入力する	71
液晶ディスプレイ	11

(オ)

オペレーティングシステム	14
--------------------	----

(カ)

確定	66
カタカナ／ひらがなキー	57
カタカナを入力する	68
かな入力	62
漢字キー	56
漢字を入力する	67

(キ)

キーボード	56
記憶装置	9
記号を入力する	69
休止状態	24

(ク)

クイック起動ボタン	36
クリックする	33

(コ)

ごみ箱	36, 49
-----------	--------

(サ)

再起動	26
最小化ボタン	39
最大化ボタン	39

(ス)

数字／カーソルキー入力機能	89
数字／カーソル入力キー	57
スクリーンセーバーパスワード	87
スクロールバー	39
[スタート] ボタン	36
スタンバイ機能	23
ステータスバー	38
スマートメディア	11
スリープアイコン (休止状態)	25
スリープアイコン (スタンバイ機能)	24

(ソ)

ソフトウェア	14
--------------	----

(タ)

タイトルバー	38
タスクバー	37
タッチパッド	13, 32
タブ	64
ダブルクリックする	34

(ツ)

ツールバー	38
-------------	----

(テ)

ディスプレイを閉じる	29
デスクトップ	36
電源アイコン	18
電源スイッチ	19, 28
電源に関する表示	18
電源を入れる	18
電源を切る	21

(ト)

特殊機能キー	88
閉じるボタン	39
ドラッグアンドドロップする	35

(ナ)

内蔵	9
ナビパネル	18

(ニ)

日本語入力システム	61
入力装置	12
入力に関する制御キー	86

(ハ)

ハードウェア	8
ハードディスクドライブ	9
パネルスイッチ機能	29
半角／全角	61
半／全キー	56

(ヒ)

左ボタン	13, 32
表示装置	11
ひらがなを入力する	66

(フ)

ファイル	40
ファイルの名前を変更する	46
ファイルをコピーする	47
ファイルを削除する	49
ファイルを作る	43
ファンクションキー	56
フォルダ	40
フォルダの名前を変更する	46
フォルダをコピーする	47
フォルダを削除する	49
フォルダを作る	41
フラッシュメモ리카ード	11
プロセッサ	8
フロッピーディスク	9
文書を保存する	80

(ヘ)

変換キー	57
変換の区切りを変える	73

(マ)

マイ コンピュータ	36
マイ ドキュメント	36
マウス	12
マウスポインタ	32
マウスポインタを動かす	33

(ミ)

右クリックする	34
右ボタン	13, 32

(ム)

無変換キー	56
-------------	----

(メ)

メニューバー	38
メモ帳	59
メモリ	8

(モ)

文字キー	58
文字を削除する	72
文字を入力する	60
元のサイズに戻すボタン	39

(ヤ)

矢印キー	57
------------	----

(ヨ)

読みかたがわからない文字を 入力する	75
-----------------------------	----

(ロ)

ローマ字キー	57
ローマ字入力	62
ローマ字入力一覧表	84